戦　評　用　紙

令和5年度　　**北河内地区　春季大会**

R5年　4月29日　時刻9：30　　女子　【決勝リーグ】

枚方	70	〔 19―11 16― 6 16― 7 19−10 〕	34	門真五

第1Q	白(枚方)④⑤⑥⑨⑩，黒(門真五)④⑤⑦⑧15でスタート。
白は開始からオールコートマンツーマン，黒はハーフコートマンツーマンでディフェンス。	
白④⑤の連続得点で，開始22秒で黒はたまらずタイムアウト。流れを変えようとするも	
ターンオーバーで得点される。黒は④の3Pで初得点。白はオールコートマンツーマンで	
守るもファールが重なる。黒④の2本目の3Pが決まるものの白④⑤を中心とした攻撃が	
続き，19―11で1Q終了。	
第2Q	白(枚方)④⑤⑥⑨⑩，黒(門真五)④⑤⑦⑧15でスタート。
白は第1Qと同様，オールコートマンツーマンディフェンス，④を中心とした攻撃で得点を	
上げる。黒はディフェンスを頑張るもオフェンスでリズムが作れず，苦しい展開に。	
白はボールを動かしながら④のドライブで得点。白はファールが重なりTO。	
黒は⑤を中心としたオフェンスをするも35―17で第2Q終了。	

第3Q	白(枚方)④⑤⑥⑨⑩，黒(門真五)④⑤⑦⑨14でスタート。
白は前半と同様オールコートマンツーマンディフェンス，④⑤中心で攻め⑨がリバウンドを	
頑張り，流れを作る。黒は早いパス展開で白のディフェンスを苦しめ得点。黒は白④の	
ドライブに対応するもファールとなる。黒④⑤で得点するも51―26で第3Q終了。	
第4Q	白(枚方)⑤⑥⑨⑩11，黒(門真五)④⑤⑦⑧14でスタート。
白は⑥の速攻で第4Qもいい流れでスタートする。白⑨のリバウンドで攻撃の時間が	
長く黒は苦しい状況。途中交代の白12が3Pを決め点差が開く。黒は⑤が得点するも	
70―34で試合終了。白の気持ちが溢れ出た試合となった。　（戦評／寝屋川三中：松村）	

戦　評　用　紙

令和5年度　　**北河内地区　春季大会**

R5年　4月29日　時刻11:00　　女子　【決勝リーグ】

樟風	64	14― 7 17―10 20― 7 13―17	41	四條畷

第1Q	決勝リーグ1日目，白(樟風)④⑤⑦⑩11，黒(四條畷)④⑤⑦⑧12で
スタート。両チーム，固い立ちあがりとなるが白④がペイントエリアに攻め得点。	
黒は⑦のポストアップで得点したいが，白④⑤がそれを許さない。白は④⑩を中心に	
得点。黒は⑤の3Pシュートや⑦のリバウンドシュートで得点し，14対7で第2Qへ。	
第2Q	白(樟風)④⑤⑦⑩11，黒(四條畷)④⑤⑦⑧11でスタート。
第2Q開始直後，黒⑦が中距離のシュートを決める。対して，白のオールコートDFが	
徐々に機能し始め，黒のターンオーバーを誘発。その間に白がリードを広げ，	
31対17で前半を終えた。	

第3Q	白(樟風)④⑤⑦⑩12，黒(四條畷)④⑤⑦⑧12でスタート。
黒は④⑤⑦を中心に，外中外とリズムよくパスを回し，シュートチャンスを作るが，	
なかなかシュートが決まらない。白は④の3Pシュート，リザーブから出場した16の	
積極的な1vs1が見られ，51対24で第4Qへ。	
第4Q	白(樟風)④⑩11、12、18，黒(四條畷)④⑤⑥⑦⑧でスタート。
黒はオールコートDFから流れを取り戻そうとする。白のターンオーバーやタフショットを誘い	
黒④⑥を中心に得点する。黒⑦の3Pシュートも決まり，最後まで必死に追いかけたが	
64対41で樟風中学校が勝利した。最後まで戦いぬいた両チームの2日目に期待したい。	
	（戦評／枚方中：川邊）

戦　評　用　紙

北河内地区春季大会　女子【決勝リーグ】　　令和5年4月30　時刻10:00

枚方	52	17 ― 10 14 ― 1 5 ― 11 16 ― 8	30	四條畷

第1Q	白④⑤⑥⑨⑩　青④⑤⑦⑧⑫でスタート

白が⑨の3Pで先制、青も⑫がミドルシュートを入れ返す。白が④のドライブで得点し、リードを広げるが、青④⑤の連続3Pで同点に追いつく。白のDFが固く、青はなかなかチャンスを作ることができず、オフェンスのリズムを掴むことができない。そのまま17－10で1Q終了。

第2Q	白④⑤⑥⑨⑩　青④⑤⑥⑦⑪でスタート

2Q開始後、青は白のDFに捕まり、ターンオーバー、ショットクロックバイオレーションを連発してしまう。白は相手のミスから速攻を出し、トランジションで得点を重ねる。残り3分で青がタイムアウト。その後も白はアウトサイドシュートを高確率で沈め、さらに得点差を広げ31－11で前半終了。

第3Q	白④⑤⑥⑨⑩　青④⑤⑥⑦⑫でスタート

青⑧のシュートから始まり、④の3Pなどで反撃開始。しかし白のDFが固く、なかなか流れを掴むことができない。白はアウトサイドシュートが決まらず、得点が止まる。両チームともOFが停滞し、36－22で3Q終了。

第4PD	白④⑤⑥⑨⑩　青④⑤⑥⑦⑫でスタート

4Q開始後、白が早い展開で得点を重ね、44－22になったところで青がタイムアウト。白の④⑤を中心とした攻撃でさらにリードを広げる。青も④の3P等で得点するが、白が反撃を許さず52－30で試合終了。

（戦評／　南郷中：青柳）

戦　評　用　紙

北河内地区春季大会　女子【決勝リーグ】　　令和5年4月30日　時刻10:00

門真5	42	10 ― 19 4 ― 15 9 ― 11 19 ― 12	57	樟風

第1Q	白④⑤⑦⑧⑮　黒④⑥⑦⑩⑪でスタート

白⑤のセンタープレイからシュートを決める。黒はパスをまわし、④の1on1からシュートを決める。黒は外からのシュートを積み重ね、得点を二桁にのせる。白は外から中、中から外へリズムよく攻める。白④の3Pで得点を二桁へ。10－19で終了。

第2Q	白④⑥⑦⑩⑪　黒④⑥⑦⑩⑪でスタート

序盤に黒⑦が個人ファウル3つ目。黒④のゴール下シュートが決まり、2Qの得点が動き出す。黒④⑩が連続で3Pを決め、白を突き放す。白は得点が動かない時間が続く。黒はさらに前からのDFで白にプレッシャーを与え、白に10点以上の差をつける。白も黒のターンオーバーを誘い、速攻で得点する。14－34で2Q終了

第3Q	白④⑤⑦⑧⑮　黒④⑦⑩⑪⑯でスタート

白④のレイアップから点が入る。黒⑦が1on1を仕掛け、点を返す。白は前からのDFでプレッシャーをかけ、黒からボールを奪い点数を重ねる。黒はDFのズレをパスで生み出し、1on1を果敢に行い、点差をつけていく。白はなかなか突破口を見つけ出せずに23－45で3Qを終える。

第4Q	白④⑤⑦⑧⑮　黒④⑧⑩⑯⑰でスタート

白⑧がフリースローを獲得し、シュートを決める。黒⑯がセンタープレイで活躍を見せる。白がDFを成功させ、20点以上あった点差を10点差に引き戻す。白は終盤の追い上げを見せるが、黒が試合を通して優位にゲームをコントロールし、最終スコア42－57で試合を終える。

（戦評／　諸福中：杉本）

戦　評　用　紙

北河内地区春季大会　女子【決勝リーグ】　　令和5年4月30日　時刻12:50

樟風	48	12 ― 14 7 ― 21 15 ― 15 14 ― 11	61	枚方

第1Q	白④⑤⑥⑩⑪　青④⑤⑥⑨⑩でスタート

ファーストシュートは青④。ターンシュートからファウルをもらい、3点プレイとなる。白のオールコートDFに対し、青はハーフDFで展開するが両チームともに固さが見える。青④⑤が起点となり、リズムを作る。白は中と外からバランスよく攻めるもシュートが決まらない。白はゴール下の守りを絞り、簡単にシュートを打たせずにリバウンドからの速攻でチャンスを作る。第1Qは両チームともファウルが多く、12－14で終了。

第2Q	白④⑤⑩⑪⑯　青④⑤⑥⑨⑩でスタート

両チームOF、DFは1Qと変わりないが、プレイに積極性が出てきた。白は3Pも狙うが、得点につながらない。青はハーフOFでパスランからポストへ飛び込み、得点を重ねていく。4分が経過して白がタイムアウト。青はオールコートDFに切り替えてプレッシャーを与えるが、白はそれをかわしてパスをつないでいく。青はアウトサイドからドライブで攻めたて、ゲームを組み立てていく。前半は19－35で終了し、後半を迎える。

第3Q	白④⑤⑥⑩⑪　青④⑤⑥⑨⑩でスタート

前半と同じメンバーでスタート。白は1on1、青はパスランでそれぞれの持ち味を出していく。青④がゴール下を攻め、高さで勝負する。白は④⑥がボールを回し、⑤が中外バランスよく攻め得点につなげていく。青は⑤⑥が中心となり、④も得点につなげていく。青はDFリバウンドからの速攻もみられた。白も⑪がボールを運び、④⑤⑥が得点につなげ、互角の展開を見せた3Qだった。34－50で終了。

第4Q	白④⑤⑥⑩⑪　青④⑤⑥⑨⑩でスタート

白はゴール下へ飛び込むエンドプレイが決まり、ファーストプレイで得点を決める。青はオールコートDFからプレッシャーを与える。白も同様にオールコートプレスを仕掛け、青がボール運びをしにくようなプレッシャーをかける。リードを許す白は確実にシュートを決め、得点差を縮めていく。白はオールコートDFからのローテーションで守り、プレスを強める。その展開の中でも青は⑤が3Pを決めるなど弱気にならず戦う。白は速い展開で攻め続けたが、青も粘り強く応戦した。48－61で試合終了。

（戦評／四條畷西中：八重樫）

戦　評　用　紙

北河内地区春季大会　女子【決勝リーグ】　　令和5年4月30日　時刻12：50

四條畷	57	14 ― 7 17 ― 7 15 ― 11 11 ― 10	35	門真5

第1Q	白④⑥⑦⑧⑫　紺④⑤⑦⑧⑮でスタート

紺⑧のドライブで得点がスタート。白は⑤や④のシュートで対抗する。紺はミドルシュートで得点を重ね白は④を中心にゲームを組み立てる。第1Qは14－7の白リードで終わる。

第2Q	白④⑤⑥⑦⑪　紺④⑤⑦⑧⑭でスタート

白は⑤や④の3Pで点差を広げる。紺はタイムアウトを取るも流れが変わらず、白⑤の3Pや⑧のドライブで点差が開く。紺は④や⑦のドライブで得点するが、第2Qは31－14で終了。

第3Q	白④⑤⑦⑧⑫　紺④⑤⑦⑧⑮でスタート

紺は④のドライブや⑦の裏パスからのゴール下、⑧のドライブで点差を広げる。紺は④のドライブやミドルシュートで対抗する。第3Qは46－25で終了。

第4Q	白④⑤⑥⑨⑫　紺④⑤⑦⑧⑩でスタート

白は⑤の3Pで得点。白は点差が開いたところでスタートメンバーを交代させたが、そこに紺がオールコートDFを仕掛け、点差を縮めていく。終盤に白はスタートメンバーに戻して流れを取り返し、57－35で試合終了となった。

（戦評／門真第四中：相見）

戦　評　用　紙

北河内地区春季大会　男子【決勝リーグ】　　令和5年4月29日　時刻 12:30

樟風	66	6 ― 14 23 ― 12 15 ― 10 22 ― 13	49	長尾

第1Q	白4. 6. 7. 8. 9　　青00. 8. 18. 23. 34でスタート

白は4のドライブで得点。青はリバウンドを取ってチャンスを作り、得点を重ねる。
流れは青で、00の3Pもあり、6－14の青リードで第1Qを終える。

第2Q	白4. 6. 7. 8. 9　　青0. 00. 18. 23. 34でスタート

白はオールコートマンツーマンで守り、青はバックコートでボールを失う場面が増える。
白の流れに変わったが、青はボール運びに成功したときには得点を入れ返した。
第2Qは29－26白リードで終える。

第3Q	白4. 6. 7. 8. 9　　青0. 00. 18. 23. 34でスタート

青は34のシュートで得点。白は速攻やドライブで得点を重ね、点差をつける。
青はタイムアウト後、34の1対1や23のドライブで対抗する。
第3Qは44－36の白リードで終える。

第4Q	白4. 6. 7. 8. 9　　青0. 00. 18. 23. 34でスタート

白は7の1対1で得点し、DEFはオールコートプレス。
青はDEFのプレッシャーに苦しむ。青2回目のタイムアウトをとるも流れは白のまま。
中盤から終盤にかけて、白9の3Pや速攻、ドライブが次々に決まり、
66－49で樟風中の勝利。

（戦評／門真4中：相見）

戦　評　用　紙

北河内地区春季大会　男子【決勝リーグ】　　令和5年4月29日　時刻14：00

寝屋川八	49	8 ― 12 11 ― 10 15 ― 13 15 ― 19	54	長尾西

第1Q	白4. 5. 6. 7. 17　　青4. 5. 6. 7. 8でスタート。

白5のドライブからのレイアップで始まる。その後、青は6のゴールしたシュート、8のミドルシュートなどで得点を重ねる。一方白は、8のドライブからのレイアップ、6の1対1からのミドルシュートで応戦するが、第1ピリオドは8ー12と青がリードする形となった。

第2Q	白4. 5. 6. 7. 17　　青4. 5. 6. 7. 8でスタート。

スタート直後、青は8がゴール下へと合わせに飛び込みシュートを決める。第2ピリオドの青は、その後も8から5、4から6と言った合わせのプレーで得点を重ねる。一方白は、5や17が粘り強くリバウンドシュートを決める。一進一退の攻防の中、19ー22で青がリードを守り切った。

第3Q	白4. 5. 6. 8. 17　　青4. 5. 6. 7. 8でスタート。

後半開始直後、白8のレイアップ、5の3Pなどで同点に追いつく。その後青は、6のリバウンドなどで応戦するも、第3ピリオド残り2分50秒で、白8のドライブからのレイアップで、この試合初めてのリードを奪う。その後も白5がシュートを立て続けに決めて、青はたまらずタイムアウト。タイムアウト明け、青は6. 7のリバウンドシュートにより流れを取り戻し、34－35と1点リードで第4Qを迎える。

第4Q	白4. 5. 6. 8. 17　　青4. 5. 6. 7. 8でスタート。

第4Qも一進一退の攻防が続く。青は6のフックシュート、4のピックを使った1対1などで得点。一方白は、8の1対1などで応戦する。シーソーゲームが続く中、青が8から6への合わせ、6のブレイクにより連続で得点し、5点差をつける。白も8のミドルシュート、6の3Pで得点するも、点差を縮めることはできず、49ー54で青の勝利となった。

（戦評／枚方4中：岩本）

戦　評　用　紙

北河内地区春季大会　男子【決勝リーグ】　　令和5年4月30日　時刻11：30

樟風	70	15 ― 12 17 ― 14 19 ― 16 19 ― 15	57	寝屋川八

第1Q	白4．6．7．8．9　　黒4．5．6．7．8でスタート

白9の速攻で得点。白は速いパス回しからの鋭いドライブで得点を重ねる。黒は、4のポストプレイ、8の3Pで食らいついていく。中盤、白はオールコートマンツーマンに切り替えるが、黒8の落ち着いたボール運びが光る。最後、白7がフリースローを決め、15－12白リードで第2Qへ。

第2Q	白4．6．7．8．9　　黒4．5．6．8．17でスタート

白7の3Pが決まり先制。黒はリバウンド、激しいディフェンスでねばって点差を縮めテイク。互いに激しいディフェンスでファールが嵩んでいく。中盤まで、取ったら取り返すゲーム展開だったが、
後半は、白4のバスケットカウント、6の速攻で白が流れを引き寄せ、32－26の白リードで前半終了。

第3Q	白4．6．7．8．9　　黒4．6．8．10．17でスタート

開始早々白7のシュートが2本決まるが、黒8の3P、4の速攻で取り返す。取ったら取り返すゲーム展開が続く。黒が流れを断ち切るようなディフェンスを見せる中、白は4を中心とした落ち着いたプレーで試合の主導権を渡さない。51－42の白リードで最終Qへ。

第4Q	白4．7．8．9．11　　黒4．5．6．8．17でスタート

黒4のシュートから始まるが白11のドライブも決まる。白が鋭いドライブ、3Pで徐々に差を広げていく。黒には苦しい展開が続くが、ファールを誘うプレーで粘り強く戦う。しかし、最後まで白の勢いは止まらず、70－57で白の勝利。両チーム共、最後まで素晴らしいゲームを見せてくれた。
今後に期待したい。

（戦評／　交野第一中：江田）

戦　評　用　紙

北河内地区春季大会　男子【決勝リーグ】　　令和5年4月30日　時刻11：30

長尾	47	18 ― 9 12 ― 16 6 ― 11 11 ― 14	50	長尾西

第1Q	白　00. 8. 18. 23. 34　紺4. 5. 6. 7. 8でスタート

白は立ち上がりから34のポストプレーやリバウンドを中心に安定して得点を重ねる。一方紺は4のミドルシュートやフローターシュートを中心に応戦する。第一Qは、高さで勝る白が18－9でリードする展開となった。

第2Q	白　00. 8. 18. 23. 34　紺4. 6. 7. 8. 17でスタート

白34が立て続けにポストアップやミドルシュートで得点する。紺は、6のゴール下や4の1対1で得点する。第2Qの中盤あたりから、紺のディフェンスが激しくなり、ダブルチームを積極的に仕掛ける。そんな中、紺4がパスカットから鮮やかなダブルクラッチを決めて、流れを引き戻す。
30－25と紺が点差を縮めて第2Qを終える。

第3Q	白　00. 8. 18. 23. 34　紺4. 5. 6. 7. 8でスタート

紺は第2Q同様に、積極的にダブルチームを狙い、パスカットからのブレイクで点を重ねていく。
一方白は、34のリバウンドなどで得点を取るものの流れを作ることができずに苦しい時間となる。
第3Qにディフェンスで流れを作った紺が36－36の同点に追いつき、ゲームを振り出しに戻した。

第4Q	白　00. 8. 18. 23. 34　紺4. 5. 6. 7. 8でスタート

白は23のドライブ、34のリバウンドシュートで流れを戻そうとするが、紺は4のドライブや8のミドルシュートで得点を取り、一進一退の攻防が続く。残り21秒、紺の6がリバウンドシュートを決めて、
45－47と紺リード。白はたまらずタイムアウトを取り、24のミドルシュートで同点に追いつく。
しかし、残り2．2秒で再び紺の6がリバウンドシュート。これがバスケットカウントとなり、その後フリースローもしっかり決めてそのままタイムアップとなった。
白熱した試合を繰り広げた両チームに賞賛を送りたい。

（戦評／枚方4中：岩本）

戦　評　用　紙

北河内地区春季大会　男子【決勝リーグ】　　令和5年4月30日　時刻14：10

長尾西	60	17 ― 25 7 ― 24 16 ― 21 20 ― 29	99	樟風

第1Q	白4．5．6．7．8　黒4．6．7．8．9でスタート。

黒7の右ドライブ、ストップジャンパーでスコアする。対する白は、6．7のオフェンスリバウンドで黒を苦しめる。その後白4のバスケットカウント、7の3Pで一時17－17まで追い付く。
しかし、残分1からオールコートディフェンスがはまり、第1Q17－25で黒のディフェンスが光るクォーターであった。

第2Q	白4．5．6．7．8　黒4．6．7．8．14でスタート。

開始早々トランジション速く攻め、黒4が決め12点開いたところで白がたまらずT.Oを取る。T.O後6のゴール下で1つ落ち着きが出るかのように思えたが、ここでこの試合初めて黒8がオフェンスリバウンドを取り主導権を握らせない。黒はここでディフェンスのギアを上げ、残分4には20点差まで広げる。更にベンチから出てきた黒10がファーストショットの3Pが決まり、ベンチ総立ちで盛り上がり、24－41で黒リードで終える。

第3Q	白4．5．6．7．8　黒4．6．7．8．9でスタート。

白8のきれいなシュートからの3Pで始まる。その後白7の1対1を起点に攻めるが、中々リズムが出ない。逆に黒のトランジションがさらに速くなり、残分3で28点差まで点が開く。どうにかしたい白は、それでも変わらず積極的に1対1を攻める。終盤に6のポストプレーでスコアするが、最終40－70と開き、第3Qを終える。

第4Q	白4．6．7．8．15　黒4．7．9．11．12でスタート。

第4Qに入っても黒のボールを奪ってからのトランジションの速さが落ちず、どんどんスコアを重ねていく。白も何とか必死に頑張るが、中々攻め手がなく厳しい展開が続く。その中でも白6がオフェンスリバウンドをもぎ取り、バスケットカウントでつなぎ、最後まで諦めずにプレーを続ける。
最終60－99でゲームを終えたが、白の個人技、黒の4Qを通してのディフェンス、それぞれのチームの特徴が出て、スコア以上に内容の濃いゲームであった。

（戦評／友呂岐中：田辺）

戦　評　用　紙

北河内地区春季大会　男子【決勝リーグ】　　令和5年4月30日　時刻14：10

寝屋川八	59	12 ― 16 17 ― 14 19 ― 15 11 ― 17	62	長尾

第1Q	白4. 5. 6. 8. 17　黒00. 8. 18. 23. 34でスタート

黒34のポストプレイでファールを誘い、フリースローで先制。黒は34のミドルやゴール下、23のドライブに00が外で合わせて得点する。白は黒のディフェンスに苦しみ残分4でタイムアウト。
その後白は、4や10のオフェンスリバウンドからのゴール下、6の速攻で応戦し、両者譲らない状況となる。残分1で黒18がオフェンスリバウンドからゴール下のシュートを決め、これがバスケットカウントとなる。白12－黒16で第1Q終了。

第2Q	白4. 6. 8. 10. 17　黒00. 8. 18. 23. 34でスタート

白は6や17のドライブ、8の外からのシュートで得点し流れをつかみ逆転する。黒は果敢に外からのシュートを試みるも得点につながらず、残分3でタイムアウト。その後黒は18のゴール下、8の3Pで点差を縮めていく。第2Q終了直後、白6がドライブで得点するも、黒23がブザービートを決め、白29－黒30で前半終了。

第3Q	白4. 6. 8. 10. 17　黒00. 8. 18. 23. 34で後半スタート

第3Q前半は、白8の外のシュートや4のポストプレイ、黒23，34のドライブ等で両者を取り合う展開となる。残分4で白44－黒43で黒がタイムアウトを取る。その後白は、6がパスカットからの速攻やミドルシュートを決めて、黒は34かドライブで対応し、白48－黒45で第3Q終了。

第4Q	白4. 6. 8. 10. 17　黒00. 8. 18. 23. 34で第4Qスタート

白8がドライブでファールをもらいながら得点し先制する。白は4. 6. 8が速攻で得点するも、黒が34を中心にゴール下やドライブ、外のシュートで得点を重ねる。残り1：16で黒34がポストプレイを決め逆転する。たまらず白はタイムアウトを取る。白は激しいディフェンスから得点を試みるが、黒34のブロックショットに阻まれ、あと一歩追い付くことができず白59－黒62で試合終了。

（戦評／中宮中：北川）